



# 豊玉二中だより

平成28年度 第10号  
発行日 2月22日(水)  
練馬区立豊玉第二中学校  
校長 中山 徹

## 如月、弥生・・・

校長 中山 徹

2月は、我が国では古くから「如月（きさらぎ）」と呼ばれています。しゃれた響きの言葉だと思います。

もうすぐやって来る3月は「弥生（やよい）」、4月は「卯月（うづき）」と続きます。

日本には、季節や季節の節目を表す言葉がたくさんあります。今月3日は、言うまでもなく「節分」でした。季節の分かれ目という意味です。豆まきをした人も多かったのでは、と思います。

そして、2月4日は「立春」でした。暦の上では春となりましたが、まだまだ厳しい寒さが続いています。

来月になると、3月5日は「啓蟄（けいちつ）」です。冬ごもりをしていた虫が、温かくなったので穴から出で来る頃、と言われていています。まさに春が近づいてくることを表しています。

また、3月20日は「春分（しゅんぶん）」。その日は祝日の「春分の日」となっています。太陽がほぼ真東から出て、真西に沈む、昼夜がほぼ同時間という日です。

我が国で古くから使われている言葉には、「味わい深いもの」が数多くあります。先日の朝礼では、「そういった言葉について、ぜひ興味をもって勉強していこう」と生徒たちに話をしました。

日々、春が近づいてくるように思います。

3年生は、この間、私立高校、都立高校の入学試験がありました。すでに合格通知をもらっている人もいますが、これから第1志望校の入試結果が発表されるという人も大勢います。

3年生は「旅立ち」まであと少しです。卒業式では、これまで豊玉第二中学校で学んできた集大成の姿を、堂々とした姿を、是非見せてほしいと考えています。

期待しています。

